

U.S.A / JAPAN JOINT FORUM 2013

日米ヘルスケア最新事情

米国のリハビリテーション / 米国の弁護士とヘルスケア / そして、そのことと日本のリハビリテーションとヘルスケア

毎年実施しております本フォーラムも20年以上になります。今年は長期急性期医療(LTAC)とリハビリテーションについてアメリカの実態を講演してもらいました。好評で、多数のご参加者があり、意義あるフォーラムだったと思います。

来年は、一昨年来日された医療関係でご活躍の弁護士に、アメリカの医療関連訴訟について講演してもらいます。日本で医療関連の訴訟といえば患者側の訴訟を思い浮かべる方が多いと思いますが、私のねらいは、アメリカで急激に増えた勤務医に対する「行動基準」にポイントを置いてもらっていることです。日本でも、勤務医の解雇の際の基準が必要と考えているからです。

リハビリテーション関係は、今年も来日された大学の教授に再演して頂きますが、今年とは異なる視点も入れております。また、長期急性期医療(LTAC)など、医療機関の機能についても言及してもらいます。

医師の行動基準や入院リハビリテーションの基準についてご関心のある方はぜひ、ご参加下さればと思っております。

主催者 岡田 玲一郎 (社会医療研究所 所長)

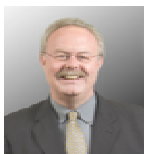
総合司会: 岡田玲一郎 逐次通訳/通訳: 山本雅子



第1部 10:00~10:30 「日米ジョイントフォーラムの意義と交流の成果」

Dr. Lee Pickler ポールドウィンワラス大学 ヘルスケアMBA教授

このフォーラムについて、ふり返ってもらい、研修医の米国側での受け入れ状況を話してもらいます。



第2部 10:40~12:00 「アメリカにおける弁護士とヘルスケア」

Dr. Michael J. Jordan Walter & Haverfield法律事務所共同経営者
一般企業訴訟/仲裁担当主任弁護士 医療/バイオサイエンス分野訴訟担当主任弁護士

患者側の訴訟も話してもらいますが、焦点は勤務医の行動基準の話題です。



第3部 13:00~14:20 「アメリカのリハビリテーションと病院の連携」

Dr. Gary S. Clark ケースウェスタンリザーブ大学 理学療法リハビリテーション部教授
メトロヘルス メディカルセンター 研修医指導部長
医療メディカルディレクター リハビリテーション研究所所長

「入院リハビリ」とはなにか、そして病院機能の連携について話してもらいます。



第4部 14:30~15:30 「日本の病院連携と機能の明確化」

武久 洋三先生 日本慢性期医療協会 会長

慢性期医療の重要性と、日本型長期急性期医療の展望について講義してもらいます。



第5部 15:35~16:00 「セミナーのまとめと感想」

岡田 玲一郎 社会医療研究所 所長

短い時間ですが、各講師の講演のポイントについて話させていただきます。

各講師のプレゼンテーションの内容についての文責は岡田にあります。

【主催】 社会医療研究所

【共催】 一般社団法人日本慢性期医療協会

社会医療法人ペガサス馬場記念病院

【後援】 一般社団法人大阪府私立病院協会

はあとふるグループ医療法人永広会

株式会社ヘルスケア経営研究所 保健・医療・福祉サービス研究会

< 東京会場 >

日時: 2013年2月23日(土)

10:00~16:00 (受付開始9:30)

会場: 全国町村会館 地図は裏面参照

< 大阪会場 >

日時: 2013年2月24日(日)

10:00~16:00 (受付開始9:30)

会場: マイドームおおさか 地図は裏面参照

参加費 5,000円

申込及び申込キャンセルの締切日は2/15(金)です。

お申込み方法及び会場の詳細は裏面をご覧ください。